

令和6年度入学

新入生保護者説明会 ガイダンスブック

令和6年1月19日(金)
受付/13:20~13:40

於：小出中学校/体育館



写真は今年度(9/2)体育祭の応援合戦

(1) 13:40~14:15/
子育てセミナー講演会

(2) 14:25~14:50/
生徒会役員による
学校紹介

(3) 15:00~15:55/新入生保護者説明会

- ① 経営方針と部活動地域移行など
- ② 入学学準備、中学校の学習・授業、生活・規則、PTA活動など
- ③ 諸経費など
- ④ 質疑応答、連絡など

魚沼市立小出中学校

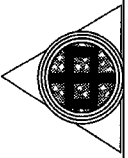
所在地：〒946-0025 魚沼市古新田 225 番地 2

TEL：025-792-0074

FAX：025-792-0090

児童氏名()

令和5年度 小出中学校 グランボードデザイン



魚沼市の教育
《子育ての方向》
「自ら考え、自ら学ぶ
創造力にあふれた人間性豊かでたくましい子ども」

- 《重点事項》
- NRT標準学力検査で前年度よりオーバーパーアチーバーの割合を高くし、アンダーアチーバーの割合を低くする。
 - 文科省調査報告で不登校発生率を国・県平均以下にする。
 - WEBQU調査で、インクルーシブライン内の児童生徒の割合を1学期より高くする。

教育目標 豊かな心をもちたくましく生きる生徒

- 主体的に学び、自分の考えを進んで表現する生徒を育成する
- 思いやりと感謝の気持ちを表し、より良い集団を築くことができる生徒を育成する
- 心身の健康を自己管理でき、より良い成長を目指す生徒を育成する

重点目標

「学ぶ・かかわる・やり遂げる」生徒の育成

＜生徒の実態＞

- 知 ○素直で、与えられた課題に真面目に取り組む。
△宿題には取り組むが、自分で決めた学習を学年の目標時間に届くほど取り組む生徒は少ない。
- 徳 ○明るく、元気な生徒が多く、各種行事に熱心に取り組む。
△互いの意見を伝え合い、より良い集団を築こうとする意識を高めることを課題としている。
- 体 ○普段から積極的に体を動かす生徒が多い。
△適切なメデアイア利用ができず、生活リズムが乱れがちな生徒がいる。

学ぶ小出中：自ら課題を設定し、解決する力を育てます
— 自らの考えを表現する場の設定 —

- ☆目指す成果
- 「授業が分かる」という生徒85%以上
 - 「授業で自分の考えを表現した」という生徒7.5%以上
 - 1日1時間は家庭学習を行う生徒70%以上
- ☆具体的な取組
- 「学習5原則」について根気強く指導していきます。
 - 思考力・表現力を育成するために、主体的で対話的な学び合いの授業を展開します。
 - 「こいでらいふ」を活用し、自律に向けた指導を行い、生徒自身の振り返り(分析)を通して自己の学習方法を考え、実践できるための支援を行います。
 - ICTの研修を通して、ICTを生徒が活用して学び合い、表す授業を実践します。
 - 全教職員による各種テストの活用及び結果分析を行い、生徒の実態に合った授業改善につなげます。

かかわる小出中：思いやりの心をもち行動できる力を育てます
— 道徳科の時間を要とした道徳教育の推進 —

- ☆目指す成果
- 挨拶を自ら行ったという生徒80%以上
 - 思いやりや感謝の気持ちを表現した生徒80%以上
 - 目標達成のために他者と協力した生徒80%以上
- ☆具体的な取組
- 自らの生活や生徒が道徳的実践力を育成するために、全校体制で「自分の考えをもち、話し合い活動で深める授業(考え話し合う道徳)」の実施を図ります。
 - 「道徳ノート」を活用し、道徳的価値に対する自分の考えや思いを共有し、道徳性に関する成長を実感させます。
 - 体験活動やボランティア活動等の各種教育を通して、様々な場面に於いて、自らの生活や生き方を振り返り、より良い生き方について考える活動を図ります。
 - 道徳教育や公民教育、同和教育に係る研修を年2回以上実施します。

やり遂げる小出中：健康な心と体を育てます
— 個に合わせた生活リズムづくりに向けた継続的支援 —

- ☆目指す成果
- 体力テストで8種目中6種目が全国平均を上回る
 - メデアイア利用を適切に行い、自ら進んで生活リズムを整え、実践できる生徒70%以上
- ☆具体的な取組
- パランスのとれた体力の向上を目指して、体育の授業や部活動で補強トレーニングを行います。
 - 基本的な生活習慣を育てるために、食事や生活に関する学習を計画的に行います。
 - 元氣アップ週間では、前後の指導を充実させ、生徒が主体的に取り組めるよう指導します。
 - 中学校区3校の連携や「地域学校協働本部事業」「学校保健委員会」の充実を図り、学校・家庭・地域、医療機関が一体となり取組を推進します。

- 元氣アップ週間
家庭学習強調週間
学習規律育成
- 双方向の情報連携
 - PTA活動による教育活動支援
 - オープンスクール、たより、HPによる情報提供と学校評価

- 共通取組事項のデータの共有化
- 「学び方ガイド」の作成・活用(9年間)
- 特別支援教育・人権教育、同和教育研修の共同実施
- 実践発表会、授業公開等による交流研修の実施
- 生徒の自己有用感を高める活動(小学生への支援等)

- 地域学校協働本部事業
- ・学習支援
 - ・環境整備

- 職場体験学習、地域探訪学習等への支援
- 人権意識啓発あいきつ運動の実施
- 継続的なボランティア活動の実施
- ・ふれあい配食クラブ
- ・ボランティアスクール

学校運営協議会

I 学校経営方針

1 学校経営の基本方針

「教育はひとり」といわれるよう、人を教える・指導する立場であることを常に意識し、生徒、保護者そして地域から尊敬と信頼される質の高い職員集団を目指す。そのためには、互いに切磋琢磨し合える関係づくりを重視し、それを基盤として、生徒の〈知〉、〈徳〉、〈体〉の育成を図っていく。そして、学校、保護者、地域等との連携を深め、互いの信頼関係の下、地域ぐるみで生徒の育成を目指す。

2 教育目標の実現に向けて

教育目標「豊かな心を持ち たくましく生きる生徒」の実現に向け、教職員、保護者、地域及び関係機関が一体となった、「チーム小出」による教育活動を推進する。

3 目指す学校像

- (1) 学ぶ小出中：基礎的基本的事項をもとに、主体的・対話的に深く学ぶ学校
- (2) かかわる小出中：互いにかかわり思いやる、明るくすがすがしい学校
- (3) やり遂げる小出中：目標をもってねばり強く取り組む、達成感・充実感のある学校
- (4) 信頼・誇り・郷土愛を大切にしている学校

4 目指す生徒像〈魚沼市の目指す子育ての方向「魚沼大好き！よく遊びよく学びチャレンジする子」〉

- 〈知〉自ら課題に向き合い、主体的に学ぼうとする生徒
- 〈徳〉思いやりの心を持ち、互いに切磋琢磨し、向上する生徒
- 〈体〉自立した生活習慣を身に付け、心身の健康を保持・増進する生徒

5 効果的な教育活動に向けて

(本年度の重点)



教育計画に基づいた、教育活動の確実な実践

重点1 学力の向上 (学習指導要領の主旨の実現に向けて)

※学力の捉え方、目安

- (1) 教育計画学習指導部の生徒像を目指す (基礎・基本の習得、思考力等の育成)
- (2) 全国学力・学習調査結果の改善
- (3) NRTの数値改善及びアンダーアチーバー16%以下
- (4) Web配信問題の活用

重点2 新たな不登校・不応答生徒を生まない支援の充実

- (1) 1・2年生時に不登校・不応答を生まない取組の継続
- (2) 生徒の発達や実態に即した、教育活動の取組
- (3) 特別に支援を要する生徒に対する積極的な支援
- (4) いじめ見逃しゼロを常に意識した教育活動への取組

保護者・地域・関係機関と連携した特色ある学校づくり

<教育活動推進の土台である、質の高い教職員集団の育成>

- (1) 一人一人の生徒・保護者へ寄り添うことができる、職員の育成 (規範意識、倫理観及び人権意識の向上)
- (2) 風通しの良い職員集団の育成 (小出中職員としての自覚、誇り)
- (3) みんながやる気・元気が出る働き方改革の推進 (自らが考える働き方改革)

学校運営協議会 ↔ 地域学校協働本部

Ⅱ 小出中学校のあらまし

1 小出中学校のあゆみ

昭和51年 4月	○小出中学校と伊米ヶ崎中学校が統合し、小出町立小出中学校として現在の位置に開校
昭和60年10月	○統合10周年記念事業
平成 3年 4月	○県社会福祉研究普及校指定
平成 7年10月	○統合20周年記念事業
平成16年11月	○小出町、堀之内町、湯之谷村、広神村、守門村、入広瀬村の6町村合併により魚沼市立小出中学校となる(合併9日前に中越大震災が発生)
平成17年2月～6月	○中越大震災に伴う校舎内大規模改修
平成17年7月～10月	○校舎外壁大規模改修
平成17年10月	○統合30周年記念事業
平成18年12月	○第50回日本学生科学賞 文部科学大臣賞 受賞
平成19年12月	○第51回日本学生科学賞 全日本科学教育振興委員会賞 受賞
平成20年4月～平成22年3月	○新潟県教育委員会 中1「複数担任制」パイロット事業指定
平成22年4月～10月	○体育館耐震補強、大規模改修工事
平成22年12月	○第54回日本学生科学賞 学校賞 受賞
平成23年4月～平成25年11月	○校舎耐震補強、大規模改修工事
平成23年11月	○魚沼市からボランティア活動が認められ、褒賞を受ける
平成25年10月	○県社会福祉協議会からボランティア活動が認められ表彰される
平成27年10月	○統合40周年記念事業
平成30年12月	○子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣賞 受賞

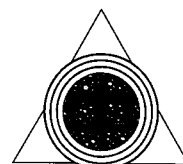
2 校章

制作者：星 襄一 氏（小出町出身 元日本版画クラブ員）

～デザインの意味～

△は越後三山 ○は魚野川をはじめとする水郷小出

○内は降る雪を示し、豊かな自然に囲まれて成長する小出中学校の姿を表しています



3 校歌

作詞者：大塚栄一 氏は短歌集「魚野」を主宰し、その名を知られた小出在住の歌人

作曲者：越部信義 氏は「おもちゃのチャチャチャ」などで知られ、全国的に活躍している小出ゆかりの作曲家

Ⅲ 教育目標

「豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒」

期待する生徒の姿（教育目標の描く生徒の姿）	
1 自ら求めて学ぶ生徒	(1) 意欲／目標を掲げて、自ら学ぶ生徒
～学ぶ小出中～	(2) 判断力／主体的に判断する生徒
	(3) 表現力／発言や発表をする生徒
2 豊かな心で実践する生徒	(1) 情操／思いやりがあり、感動する心をもつ生徒
～かかわる小出中～	(2) 協力／力を合わせて活動する生徒
	(3) 奉仕／進んで働く生徒
3 心や身体を鍛える生徒	(1) 錬磨／目標を持ち、自分を鍛える生徒
～やり遂げる小出中～	(2) 責任／自分の行動に責任をもつ生徒
	(3) 耐性／根気強く取り組む生徒

Ⅳ 生徒数と職員数（令和6年1月9日現在）

1 生徒数（男／女）

	1年生	2年生	3年生	サポート学級	合計	新入生(予定)
生徒数	87(34/53)	78(41/37)	94(47/47)	(13(12/1))	249(122/137)	80(39/41)
学級数	3	2	3	3	11	3

※「サポート学級」は特別支援学級（各学年生徒数はサポート学級生徒を含む）

2 職員数

校長	教頭	教諭等	養護教諭	事務員	市職員	合計
1	1	21	1	1	7	32

Ⅴ 校時表と主な年間行事（令和5年度）

1 校時表（月曜日は5限で終了し、終学活終了は15時00分です）

（清掃は基本的に月・水・金の3日間に行う。）

生徒登校	7時45分～ 8時15分
朝読書	8時15分～ 8時25分
朝学活	8時25分～ 8時30分
1 限	8時40分～ 9時30分
2 限	9時40分～ 10時30分
3 限	10時40分～ 11時30分
4 限	11時40分～ 12時30分
給食	12時30分～ 13時05分
昼休み	13時05分～ 13時35分

5 限	13時40分～ 14時30分
6 限	14時40分～ 15時30分
清掃	15時35分～ 15時45分
終学活	15時50分～ 16時00分
清掃なしの日は、15時35分～ 15時45分	

※行事の都合などで時々、短縮（45分）授業があります

	4～10月	11～3月
完全退校時刻	17時45分	17時15分

2 主な年間行事 (令和5年度)

4月	新入生オリエンテーション、学級発表、始業式、入学式・PTA入会式、新入生歓迎会、NRT、部活動仮入部・正式入部、発育測定、尿検査、交通安全教室
5月	生徒総会、避難訓練、生徒総会、全校遠足、教育実習、各種検診、GW 耐テスト
6月	第1回定期テスト、地区大会、性に関する指導教室、ボランティア学習会
7月	高校説明会、職業講演会、上級学校訪問、クリスマスツツ、県大会、終業式、期末懇談会
8月	ボランティアスクール、北信越大会(石川県)、ライオンズ大会、始業式
9月	体育祭練習・体育祭、地区新人水泳大会、新人陸上大会、職場体験、定期テスト
10月	郡市新人体育大会、地区駅伝大会、合唱コンクール、避難訓練、小6体験入学
11月	冬季バス通学開始、県駅伝、いじめ見逃しゼロ集会、定期テスト、生徒会役員選挙
12月	吹奏楽アンサンブルコンテスト、保育実習、クリスマスツツ、期末懇談会、終業式
1月	始業式、新入生説明会、地区スキー大会、県スキー大会、進路面談、ダンス授業
2月	生徒総会、公立高校特色化選抜入試、定期テスト、スキー授業、特支学級交流会
3月	同窓会入会式、卒業式、修学旅行、公立一般入試、公立2次入試、終業式、離任式

※ 行事などに合わせて年間3～4回ほどオープンスクールを設定しています

VI 小出中の学習

1 各教科の授業時数 (週あたり)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	道徳	学活	総合	合計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29
サポート	生徒の状況に合わせてサポート学級や交流学級での授業を編制												29

2 授業時間

- (1) 学校生活で一番大切な時間は、毎日の授業です。授業時間は通常50分間です。基本的な学習に向かう姿勢として、「学習5原則」を定めて、各学年や各教科できちんと取り組めるよう呼びかけています。
- (2) 小中連携した「学び方ガイド」や小出中の「学習の手引き」を生徒に配付し、年度当初の各教科の授業で、授業や家庭学習への取り組み方や各教科の評価方法について説明します。
- (3) 家庭学習は、学力の定着を図るための学習習慣を確立する上で大切な取組です。宿題はもちろん、各教科の復習や予習を毎日取り組むことは、小中学校時代に身に付けるべき大切な習慣です。

1年生は70分間、2年生は80分間、3年生は90分間以上の家庭学習が目標です。

【学習5原則】

- ① 授業の準備
- ② タイム着席
- ③ よいあいさつ
- ④ よい姿勢
- ⑤ 考えを発信



3 テスト

- (1) 定期テスト …… 1学期期末、2学期中間、2学期期末、3学期期末の年間4回の定期テストを実施します。国語、社会、数学、理科、英語の5教科は毎回実施されます。音楽と技術・家庭は2学期中間と3学期期末の2回実施されます。保健体育は授業内でペーパーテストがありますなお、定期テストの初日5日前から「部活動停止期間」を設け、家庭学習に集中する期間とします。原則として、定期テスト2週間前にテスト範囲表とテスト計画表を配付し、テスト勉強に取り組む準備期間に入ります。
- (2) 休み明けテスト …… ゴールデンウィーク、夏休み、冬休みの長期休業明けに実施します。国語、社会、数学、理科、英語の5教科で休業中の課題から出題され、1教科15分間で実施します。
- (3) 学習の確認テスト …… 1年生は1回（3月）、2年生は2回（12月と3月）、3年生は4～5回（7月～1月）実施する予定です。国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。定期テストと異なり、出題範囲が広く、各教科とも1年生からの総合的な学力がどの程度身に付いているかを知るためのテストです。特に3年生の結果は、進路選択（高校の志望校決定など）の重要な資料にもなります。
- (4) にいがた学びチャレンジ …… 新潟県教育委員会独自の取組で、一昨年度までの「Web診断問題」を活用した取組の呼称が、昨年度「にいがた学びチャレンジ」に変わり、「問題を解く→話し合う→振り返る」をひとまとまりとした取組になりました。「対話のある学び」という切り口から授業改善を目指す取組です。インターネットを使って問題が配信され、結果を入力するシステムです。達成度を県の平均と比較でき、生徒の不得意分野が分かり、授業改善に役立てていきます。教科は国語・数学・英語で、時間は解答時間が20～25分、その後に話し合いと振り返りを行います。1、2年生は年間5回、3年生は3回実施します。
- (6) NRTテスト、全国学力テスト …… 国的に実施する調査です（全国学力テストは文部科学省が実施）。生徒の学力がどの程度身に付いているかを全国共通の問題で実施します。例年4月に3年生のみ実施します。



4 「学習の記録」（素点簿）と通知表

「学習の記録」は、各定期テストなどが終わるごとに、各生徒の様々なテストの点数や学年平均点などが記載される家庭通知簿です。

「通知表」は、各学期終了時と10月下旬（音楽、美術、技術家庭の成績のみ通知）に配付されます。学習は各教科の取組をA、B、Cの3段階で表した「観点別評価」と、それを元に算出した5～1の5段階で表した「評定」があります。学年末には生徒の学習や生活、道徳、総合的な学習の時間の学びの状況について記載して保護者に通知します。

資料：「学習の手引き」の例

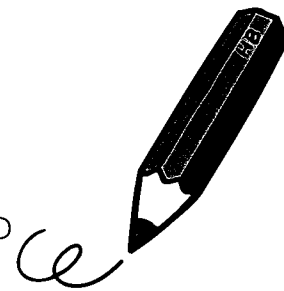
(例1)教科全体について

必要な学習道具

- ①教科書 ②ノート ③筆記用具 ④その他、教科で特に必要なもの

ノートは… ・4月最初の授業で、教科担任から説明します。

- 筆記用具は… ・鉛筆数本、シャープペンシル数本 ・ネームペン ・消しゴム数個
 ・直線定規1本（筆入れに収まる程度の長さのもの）
 ・色ペン（細い字を書けるもの、赤と青の2色は最低必要）
 ・アンダーライン用ペン（ピンクや黄色などの色の薄いもの）



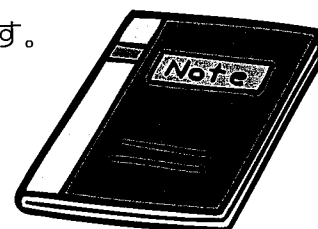
学期末通知表の評価について

- 各教科において身に付けてほしい力を3つの項目に分け、それぞれの項目ごとにA~Cの3段階で評価をします。大まかな評価の目安は次のとおりです。

A：学習のねらいが十分達成されている B：学習のねらいがおおむね達成されている

C：学習のねらいが達成されていない

- その上で、各教科とも総合的な評価として5段階の評定を算出します。



(例2)国語の評価の仕方

平常点 + 漢字テスト + 定期テスト



授業での取組の様子・提出物（宿題・ノート・ワーク・学習プリント等）

読書感想文・意見文・俳句や短歌などの作品・聞き取りテスト・書写など

○通知表「各教科の学習の記録」の観点の評価方法

評価の観点	評価の方法や場面	評価の規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ノートやワーク、プリント 定期テスト、基礎テスト 書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や表現技法を理解し、文章の中で使って、語感を磨き、語彙を増やしている。 言葉のきまりや文の構成について、理解している。 様々なジャンルの読書を進め、自分の考えを広げている。 字形を整え、大きさや配列を考えて、書いている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 授業での感想、発言、話し合い 読書感想文、意見文 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 筋道立てて考えたり、想像したりし、自分の考えを確かなものにしていく。 相手の反応を踏まえながら、自分の考えを話している。 根拠を明確にしなが、自分の考えを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業での様子 「学びの確認シート」による振り返り ノートやワーク、プリントへの取組 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に課題に取り組み、進んで活動している。 授業の終わりに、自らの学びを整理し、確認している。 学んだことを他の教科や日常生活に生かそうとしている。 進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。

Ⅶ 小出中の生活（きまり）

1 服装

①髪は男女とも清潔な髪型とする。（前髪が目にかからない、長髪は束ねる、脱色・染色・パーマはしていない。）

④リボンなど派手な飾りはつけず、髪の長い人（肩に掛かる人）はきちんと束ねる。

⑤紺色のスカートにセーラー服。白色のタイを着用。胸当てに指定マーク（校章刺繍）をつける。

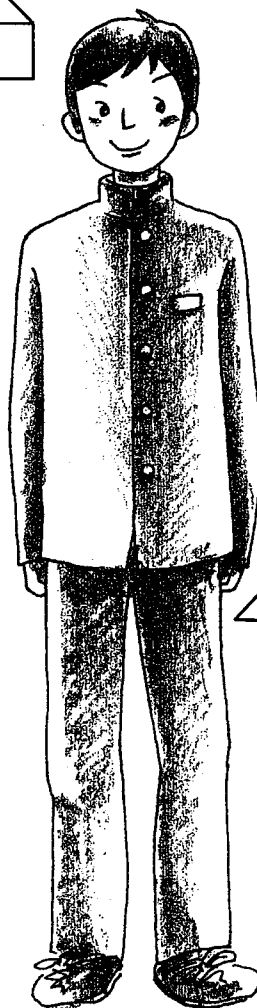
⑥セーラー服やスカート丈は短くしない。（目安はひざがかくれる。）

⑦ストッキングを着用してよい。色は黒かベージュとする。



②制服には指定された名札を左胸（ポケット）につける。四隅を白か黒の糸で縫い付ける。

③ソックスの色は白とする。



⑧標準学生服に標準マークのある学生ズボン。ラウンドカラーの制服を奨励。

⑨ベルトを使用する場合は、黒か茶系の色を使用する。

(1) 上着の下に着るものは、学ランは白のワイシャツ、セーラー服はV襟のものが望ましいです。

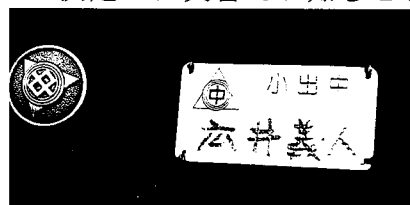
(2) 夏服は、白の半袖ワイシャツか開襟シャツを着用してください。

(3) 衣替えの時期は移行期間を設け、気候等を考慮した上で決定し、文書でお知らせします。

(4) 冬季の通学コートに指定はありません。

(5) セーラー服でもスラックス着用が可能です。

名札



2 体操着

指定された長袖シャツ、体操ズボン、半袖シャツ、ハーフパンツに各自の苗字（姓）が刺繍されたものを着用します。知り合い等から譲り受けたものは、苗字の刺繍を直して着用してください。兄弟の「お下がり」は、兄弟の名前の部分だけ刺繍をはずしてください。裾・袖が切れたり、ひざに穴があいたりした場合は直して使用してください。

3 靴（シューズ）

校内で履く「内履き」と体育授業などで履く「外履き」は指定シューズです。通学靴の指定はありません。季節や気候などに応じたもの（歩きやすく登下校に適したもの）を履かせてください。内履きの紐の色は学年カラーで指定されています（新入生は赤色です）。

4 指定体操着と指定運動靴（内履き、外履き）通学カバンの価格（消費税込み）

サイズ	長袖シャツ	長ズボン	半袖シャツ	ハーフパンツ	内履き運動靴
SS~LL	6,857円	5,702円	3,114円	3,630円	4,200円
3L	7,317円	6,218円	3,284円	3,856円	外履き運動靴
4L, 5L	8,696円	6,857円	3,396円	4,202円	4,100円
					通学カバン
					9,500円

5 小出中の制服、体操着、運動靴、通学カバンを扱っている販売店

(1) 制服と体操着

- 吉野屋呉服店（羽根川） ○ひみぞや呉服店（浦町） ○まるせん洋品店（横町）
 ○かねき（本町） ○マルセススポーツ店（浦町） ○イオン小千谷店〔※制服のみ〕

*体操着の再ネーム刺繍もできます。販売店にお問い合わせください。

(2) 運動靴

- マルセススポーツ店（浦町） ○イトウ靴店（本町）

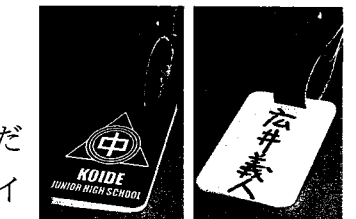
(3) 通学カバン

- イトウ靴店（本町）

内履き（左）・外履き（右）



記名の位置↑



通学カバン・ネームタグ↑

6 名札、通学カバンネームタグ

制服に縫いつける名札は、最初に学校で3枚発注し、3月中旬に小学校を通じて児童に配付します。それ以降の追加注文は、「近藤印房」（浦町TEL 792-0293）へ各自で行い、購入してください（1個330円）。なお、名札は穴あきタイプのみとし、ピンタイプの名札は使用しないでください。通学カバン・ネームタグ（800円）は年度当初の配付となります（各家庭での購入不要です）。

7 欠席と遅刻、早退

※令和6年1月から原則、欠席（遅刻、早退）は「Googleフォーム」での報告になりました。

(1) 欠席や遅刻、早退

当日、病気やケガ、通院などの理由で欠席や遅刻、早退をする場合は、朝8時00分までに保護者がフォームで連絡してください。事前に分かる欠席や遅刻は、前日までに連絡をしてください。Googleフォームでの連絡ができない場合は電話連絡をお願いします。

(2) 早退

(1)と同様に保護者が学校へ連絡してください。登校後に発熱などによる体調不良の場合、学級担任や養護教諭など学校職員から保護者へ連絡し、生徒を迎えにきていただく場合があります。

8 持ち物

(1) 学習道具

教科担当から説明があります。タブレットを毎日持ち帰り、家庭学習や日程確認で利用します。

(2) 体操着

基本的に毎日着用します。保健体育や昼休み等の運動で着替えを必要とする生徒が多いです。(特に半袖シャツ) 入学後の状況を見て追加購入を検討してください。

(3) サブバッグ

ほとんどの生徒が指定カバンの他に、サブバッグ(体操着袋、手提げ、リュック、ショルダーバッグ等様々)を使用しています。入部する部活動によって必要とするサイズが変わってきます。始めは小学校で使用している体操着袋でよいと思います。

(4) 貴重品(現金、スマホ等) ※電話のための10円数枚程度は除く

原則持ち込み禁止です。使用せずに生活できるよう連絡・指導していきます。特別な事情で持参する必要がある場合は、事前に学級担任にご相談ください。持参する場合は、登校後学校に預け、下校時に返却します。

9 校外生活

(1) 生徒同士の夜間外出はしない。18時00分までに帰宅が小出地区小中学校のきまりです。

(2) 友人宅に泊まらない。友人を泊めない。保護者不在の家への出入りはしない。

VIII スマホなどメディア端末利用について

小出中学校区では「ネットトラブル防止に関する管理と指導について」というお願いの文書を配付しました。スマホやメディア機器などは家庭の責任で子どもに使用させてください。

小出中学校では、スマホ等端末の持ち込みを禁止しているように、利用しなくても不自由なく授業や部活動、学校行事に参加できるよう計画し、連絡・指導をしています。

子どもの個人端末所持に関わらず、すでにネット通信をしている場合は入学前に再度中学校生活に支障のない関わり方(ルール)について相談してください。学校でも情報モラル教育を進めていきます。

【スマホ等端末利用に関する家庭でのルールづくりについて(例)】

- (1) 時 間: 1日〇分(時間)、〇時~〇時まで使用可、〇時以降保護者に預ける 等
- (2) 場 所: リビングのみ、家庭内のみ 等
- (3) 使用方法: スマホ見守り機能やスクリーンタイムを設定する、フィルター機能などを使用する、使用するアプリを制限する、つながる人を制限する、家庭ではパスワード設定せず定期的に保護者が点検する、就寝前に保護者に預ける 等

IX 通学（登下校）

1 きまり……「安全第一」で、以下の“きまり・マナー”を設けています。

- (1) 交通ルール、マナーを守って通学する。
- (2) 登下校中は寄り道せずまっすぐ帰宅する。
- (3) できるだけ複数で登下校し、事故・事件などの危険を感じたら大声で近くの人に助けを求める。

2 自転車通学

(1) 自転車通学が可能な区域

- ① 小出小学校区 …… 干溝（ただし、「みどりヶ丘」は除く）、四日町、羽根川3・4、大塚町、大塚新田、旭町、日渡新田
- ② 伊米ヶ崎小学校区 …… 全域
- ③ 上記以外の区域（学区）で、自宅から学校までの通学距離が2.3 km 以上ある場合

(2) 自転車通学を認める条件

- ① 自転車通学許可指定地域に住んでいる生徒
- ② 保護者の責任の下、点検整備された自転車を使用する生徒
- ③ 自転車損害賠償責任保険に加入している生徒（令和4年10月から法令義務化）
- ④ 自転車用ヘルメットを所有し、登下校で必ず正しく着用する生徒
- ⑤ 二人乗り、傘さし運転、並列走行、暗天時での無灯火、不整備車両運転などせず、自転車の交通ルールとマナーを守って運転できる生徒
- ⑥ 自転車使用申請書を提出し、申請が認められ、申請した自転車を使用する生徒

※自転車に貼り付けるステッカー（番号付き）を全員に配付します

(3) 指定区域外の生徒の自転車通学

指定区域外の生徒でも「自転車通学の条件」の②～⑥を満たせば、下記の場合に限り、自転車通学ができます。

- ① 休日や夏休み中などの「授業日」でない日に、部活動や体育祭準備、夏のボランティア体験学習などで学校や活動場所に登校・移動する場合。
- ② 職場体験活動やボランティア活動などで、授業日に自宅から施設や事業所などの目的地に移動する場合。



パールホワイト



パールネイビー

新型のヘルメット↑

(4) その他

- ① 自転車通学はおおむね4月～11月の期間です。冬期間は自転車通学禁止となります。

② 特別な事情で自転車通学が必要な場合は小出中の教頭まで連絡・相談ください。

- ③ ヘルメットを購入する場合は、魚沼市から 新型のヘルメット／6,000円↑ 購入後に1,300円の補助金が支給されます。 従来型のヘルメット／4,000円→



3 バス通学

伊米ヶ崎小学校区の大浦、大浦新田、十日町、岡新田の生徒は、冬期間（11月～3月）にスクールバスが運行され、授業日の登下校に利用できます。

X 生徒会活動

生徒の自治活動として生徒会があり、小出中学校では「青峰会」と呼んでいます。各学年・各学級でほとんどの生徒が何らかの委員会に所属して活動します。

- (1) 生徒会総務 …… 生徒会長、生徒会副会長（数1名）、総務局員（若干名）
- (2) 応援団 …… 応援団長、応援団員
- (3) 各専門委員会 ……

各学年	保健	体育	給食	広報	図書	美化
応援	1 学年	2 学年	3 学年	選挙管理		

XI 部活動（令和5年度の運営）

※令和7年度からの中学校部活動を「地域クラブ活動」化へ、5年度から過渡期に入っています。

小出中学校の部活動は右の表のとおり12部があります。

※令和5年度の部活動と所属人数（5/2 現在）

1 希望入部制

小出中は「希望入部制」です。水泳やスキーなど小出中に開設していない運動種目でも、校長の承認を得れば、中体連の大会に出場できます。

2 正式入部

生徒会主催の新入生歓迎会が入学式数日後に行われ、その中で部活動紹介が行われます。その後、仮入部期間を経て、ゴールデンウィーク直前に希望する部を決定し正式入部となります。

部 名	1 年	2 年	3 年	合計
1 陸上競技（男女）	10	7	6	23
2 野球（男女）	5	7	8	20
3 男子ソフトテニス	2	1	10	13
4 女子ソフトテニス	5	7	8	20
5 女子バレーボール	6	2	9	17
6 男子バスケットボール	4	5	8	17
7 女子バスケットボール	6	1	4	11
8 男子卓球	5	12	1	18
9 柔道（男女）	3	6	3	12
10 剣道（男女）	10	2	9	21
11 吹奏楽（男女）	7	6	9	22
12 美術（男女）	13	10	8	31
所属なし	10	12	11	33
合計	86	78	94	258

3 その他

- (1) 魚沼市の部活動ガイドラインに沿って活動を行います。休養日は、毎週水曜日を基本として平日1日と土、日のいずれか1日を「活動しない日」としています。（大会日程により土、日も実施する場合があります。）
- (2) ユニフォームや用具、遠征などの経費や休日の活動については、P.13～14をご覧ください。
- (3) 小出中の部活動設置数については、将来的に削減する方向で検討中です。



小出中学校の部活動／令和5年度（1月初旬までの活動状況などについて（新入生保護者説明会用） ※主顧問記入

No.	部名	対象性	入部後の主な必要物品・経費	保護者会費や支援活動など	主な活動状況（休日など）・特徴	担当顧問
1	陸上競技	男・女	ユニフォーム(10,000円程度)、スパイク(8,500円～)ウインドブレーカー(11,000円)チームTシャツ(2,500円)冬季は長袖Tシャツ、タイツを輪旋します。練習用のシューズは各自で購入してもらいますが高い物は10,000円以上になります。	保護者会費は、年間1,2年生10,000円、3年生5,000円です。十日町市や小千谷市での活動は保護者送迎をお願いしています。長岡市より遠方の活動は魚沼市のバスを利用します。保護者総会や三送会等を行います。	土日は基本どちらから1日(3時間程度)の活動です。土曜日に記録会や大会がある、または2日間とも大会の場合は両日の活動になる場合があります。競技力向上はもちろんですが、「良き中学生」を目指して頑張っています。	田中、丸山
2	野球	男・女	練習用ユニフォーム一式、グラブ、スパイク(金具式)。試合用ユニフォーム一式(帽子、ストッキング含め)約20,000円。その他、バッグ6,300円、冬用グラブコート(上下)15,000円など。バットは部でもありますが、個人用として購入する生徒もいます。	年間10,000円/遠征時は、保護者送迎または市バスを使うことがあります。総会や引退試合などの会合が年数回あります。	4～10月のシーズン中は、土日に練習試合や大会などが入りますが、11～3月は土日は原則どちらから休養日になっています。「応援されるチーム・選手になる」ことを大切にしています。	西巻、広井
3	テニス	男子	JSTA会員登録費(500円/年)、ジュニア審判講習会(1,500円)、チームTシャツ(2,500円程度)、ラケット(10,000円程度)、シューズ(5,000円程度)、ユニフォーム(10,000円程度)、ゼッケン(1,000円)、帽子(2,000円程度)、ソックス(500円程度)。用具は各自で用意してもよいです。(最初は高価でないものが望ましい)。冬季練習用のウインドブレーカー(15,000円程度)は必要に応じて希望者が購入しています。	保護者会費は1年生は11,000円(11ヶ月分)、2年生は12,000円(12ヶ月分)、3年生は5,000円(5ヶ月分)。ボールなどの購入や大会の参加費などにあてています。会場への移動は基本的に保護者の車での現地集合・解散。会場が遠い場合は市の借上バスを利用して移動。保護者懇談会や三送会等を行います。	部活動とは別に、スポーツ少年団としての活動もあります。(主に、平日は週2日、休日は1日程度。)スゴ少練習は自由参加です。コーチの指導があり、技術向上のために参加をする生徒が多いです。活動場所は、小出中テニスコート・体育館(冬季)、月岡公園テニスコート(堀之内)や小出郷体育館です。	松崎、上野
4	テニス	女子	JSTA会員登録費(500円/年)、ジュニア審判講習会(1,500円)、チームTシャツ(2,500円程度)、ラケット(10,000円程度)、シューズ(5,000円程度)、ユニフォーム(10,000円程度)、ゼッケン(1,000円)、帽子(2,000円程度)。ユニフォーム以外の用具は各自で用意してもよい。(最初は高価でないものが望ましい)。また、冬季は練習用のウインドブレーカー(15,000円程度)を購入してもらいます。	保護者会則にのっとり。正式入部後、保護者会を実施。保護者会費は年間3,500～5,000円程度。対外試合は、基本的には市内は現地集合・現地解散。会場が遠い場合は市の借上バスを利用。	休日の練習は、基本的にコーチの指導の下で行い、土曜日午前練習、日曜日を休日とする場合が多い。小出中コート以外にも月岡公園テニスコート(堀之内)や小出郷体育館で練習をすることがある。部活動のみならず、学校生活においても全員が仲間を大切に、向上心をもって粘り強く努力しようとする生徒を育てます。	竹内、上野
5	トバ	男	チームジャージ(18,000円程度)、練習・練習試合用バスケットボールパンツ(13,000円程度)、チームTシャツ(2,500円程度)、選手登録料(1,500円)、その他バスケットシューズなどが必要になります。	年間8,000～12,000円です。遠征については、市内は現地集合・現地解散で、市外遠征は、バス移動または現地集合・現地解散でした。集まる機会としては、総会や引退試合など、年に数回あります。	土日の練習は、土曜日を午前練習または練習試合、日曜日を休日とする場合が多いです。練習試合や大会は文書でお知らせしています。競技力の向上はもちろんですが、学校生活の過ごし方も大切にしています。	長谷川友、星
6	トバ	女	ウインドブレーカー上下(13,600円)、ゲームパンツ1枚(6,350円)、チームTシャツ2枚(4,900円)、バスケットシューズなどが必要になります。	年間10,000円です。選手登録料は保護者会費より捻出します。遠征については、市内は現地集合・現地解散でした。市外遠征は、その都度連絡します。	土日はどちらから1日午前練習が基本です。土日の練習は、堀之内中学校と合同で実施することが多いです。合同練習の会場は小出中、堀之内中どちらでも使用します。練習試合や大会も入ってくるので、そのときは文書でお知らせいたします。	佐々木、星

小出中学校の部活動／令和5年度（1月初旬まで）の活動状況などについて（新入生保護者説明会用） ※主顧問記入

No.	部名	対象性	入部後の主な必要物品・経費	保護者会費や支援活動など	主な活動状況（休日など）・特徴	担当顧問
7	ボバ ー レ ー	女	ウインドブレーカー(10,000円程度)、ゲーム用ソックス、ひざあて、ひじあて、チームTシャツ、シューズなど15,000円程度が必要になります。	年間3年生は2,000円、1,2年生は10,000円集金します。1年生入部後に、保護者説明会を行います。練習試合等については、事前に保護者会に相談し、保護者に送迎していただくか魚沼市のバスを利用するか決めていきます。	土日は主に平日練習ですが、大会前は1日練習や朝練を行うこともあります。大会や練習試合に積極的に参加します。技術面の向上以外にも、部活動を通して身に付けたあいさつや礼儀などを日常生活にも生かすことを徹底しています。部活の他に今年度は全員が水曜日に夜練に参加していました。R3年度より、部活動指導員を付けて、平日以外に練習や大会を見ていただいています。	長谷川綾、安原
8	卓球	男	入部時(連休明けころ)にラケットを購入します。ラバーを貼りかえられるラケット(板とラバー、ラケットケースなどで8,000円くらいから)です。連盟登録料は800円です。大会用チームユニフォーム(半そで、短パン)で9,000円くらいは5月ごろ購入予定です。卓球シューズは各自購入します。	保護者会はありません。大会の参加費(400円程度)はその都度集金します。市外の大会・練習会では魚沼市のバスを利用します。	卓球の基本技術の練習が中心です。休日は基本土曜日午前中に活動します。ただし日曜日に練習会や大会が入ることもあるので、文書でお知らせします。小出郷体育館での市民大会等(年2回)は全員参加です。他校との練習試合が月に1回程度あります。	松本、岸
9	柔道	男・女	柔道衣 (試合用1着+練習用1着+白帯)25,000円 ※1着のみ購入なら16,000円程度	年間6,000円 (前期3,000円、後期3,000円) 大会・練習会・遠征については、事前に保護者会に相談し、保護者に送迎をしていただくか魚沼市のバスを利用するか決めていきます。	年間を通して大会があります。大会や練習会以外での1日練習はありません。団体戦と体重別の個人戦があるため体格や運動経験など関係なく誰でも試合で活躍することができます。対外的な活動も多いため多くの人と関わり心身両面で成長することが出来ます。	高橋祭、佐藤
10	剣道	男・女	道着、袴、竹刀、防具一式(5万円程度)	保護者会あり。費用は年間10,000円。その他の経費もありますが、保護者総会でお知らせします。大会、練習会への参加は魚沼市のバスまたは現地集合です。	休日は原則、土曜日午前中の活動です。毎年、初心者が入部しており、3年生の時点で式段取得を目標としています。毎週、火・木曜日はスポーツ少年団の稽古に参加する人も多くいます。	山本祐、佐藤
11	吹奏楽	男・女	譜面台、チューナー、楽器お手入れセット、Tシャツ(計13,000円程度)、ノート、ファイル。	部費と保護者会費合わせて年間17,000円(3年生は14,000円)。保護者会の総会が例年5月に行われます。ホール練習やコンクール等で、楽器運搬のボランティアをお願いすることがあります。	休日は基本的に土曜日午前中に活動します。7月と12月に大会があり、他にも地域のお祭りやコンサート等、各種イベントで演奏の機会があります。	村山、柳
12	美術	男・女	絵を描く道具、スケッチブックなど。	保護者会はありません。美術展覧会等に行く場合は、魚沼市のバスを利用します。	休日の活動は原則ありませんが、絵画コンクールに向けての作品制作を行う場合や、美術展の鑑賞等で校外に行く場合は、土曜日の活動があります。	井口、園下
特設	水泳競技	男・女		所属のススイミングクラブなどで各自活動。今年度は1年生1名、3年生3名参加。	教頭	
特設	アルペンスキー	男・女		所属のススキークラブなどで各自活動。今年度は1年生1名、3年生1名参加。		長谷川綾

部活動地域移行の情報をお知らせします
(小5～中3児童・生徒・保護者及び市内小中学校教職員向け)

令和 5年12月11日
発行 魚沼市教育委員会
学校教育課
TEL: 025-793-7452
FAX: 025-792-1261

中学校部活動を 地域クラブ活動へ (No.4)

令和6年度の地域クラブ活動を協議

11月24日(金)、第2回地域クラブ活動推進委員会を魚沼市役所本庁舎で行い、今後の地域クラブ活動の方向性や令和6年度の具体的な内容等について協議を行いました。



推進委員会の様子

○ 令和6年度の部活動、地域クラブ活動の予定について

1 「完全地域移行」を見込んでいる種目

種目	対象	備考
軟式野球 (魚沼JBC)	魚沼北中、広神中、 湯之谷中、堀之内中	6月からの中体連大会終了後、小出中 も合流し市内全域となる予定です。
女子バレーボール	魚沼北中、広神中、 湯之谷中、堀之内中 (小出中は「4学校部活 動」に記載)	6月からの中体連大会終了後、新たに 2クラブ体制とし、小出中を含めてあ らためて希望を取ります。
剣道 (魚沼市剣道連盟)	市内全域	魚沼市剣道連盟として地域クラブ活動 を実施します。
クロスカントリースキー	市内全域	活動内容は現在と同じ見込みです。
アルペンスキー	市内全域	活動内容は現在と同じ見込みです。

2 「休日地域移行」「平日一部地域移行」を見込んでいる種目

種目	対象	備考
男子バスケットボール (White Phoenix)	魚沼北中、広神中	休日はクラブ練習、平日はクラブ練習 と学校部活動を併用する予定です。
女子バスケットボール (魚沼Bruins)	魚沼北中、広神中	休日はクラブ練習、平日はクラブ練習 と学校部活動を併用する予定です。
柔道	市内全域	休日はクラブ練習、平日はクラブ練習 と学校部活動を併用する予定です。

3 「休日地域移行」を見込んでいる種目

種目	対象	備考
女子バスケットボール (Ambitions)	小出中、堀之内中	平日は各学校で練習し、休日にクラブ 練習を行う予定です。
男子卓球	市内全域	平日は各学校で練習し、休日は小出郷 体育館(予定)で合同練習の予定です。 大会には各学校単位で参加します。
女子卓球	市内全域	

4 「学校部活動」の継続を見込んでいる種目

種目	対象	備考
陸上競技	魚沼北中、広神中、湯之谷中、小出中、堀之内中	R7年度からの地域クラブ化に向けて引き続き打合せを進めます。
男子バスケットボール	小出中、堀之内中	6月からの中体連大会は各学校部活動として出場し、大会終了後に合同チームまたは地域クラブ化を検討します。
軟式野球	小出中	6月からの中体連大会は学校部活動として出場し、大会終了後に魚沼JBCに合流する予定です。
女子バレーボール	小出中	6月からの中体連大会は学校部活動として出場し、大会後、新たに2クラブ体制とし、あらためて希望を取ります。
男子ソフトテニス	小出中、堀之内中	R7年度からの地域クラブ化を見込んでいます。
女子ソフトテニス	広神中、湯之谷中、小出中、堀之内中	R7年度から、各学校部活動を母体に地域クラブ化を見込んでいます。
吹奏楽	魚沼北中、広神中、小出中、堀之内中	R7年度から市内全域で1クラブとして地域クラブ化を見込んでいます。
文化	広神中、湯之谷中	R7年度からの地域クラブ化に向けて引き続き打合せを進めます。
美術	小出中	R7年度からの地域クラブ化に向けて引き続き打合せを進めます。

- ※ 原則として、地域クラブ化した種目には市内全域から参加できます。
- ※ 学校部活動と地域クラブ活動の両方がある種目は、学校部活動のみの参加もできます。
- ※ 前ページの内容は、各種目の協会、連盟、部活動顧問等の皆さんとの打合せをもとにした現時点での見込みです。今後、変更となる場合があります。
- ※ 地域クラブ化後は、各クラブが運営費を毎月徴収する予定です。運営費以外に各自の用具費等が必要になります。
- ※ 活動日、活動時間等の詳細は1月にパンフレットでお知らせする予定です。
- ※ 女子バレーボールの中体連大会後の再編成について

前ページの表にあるように、女子バレーボールは来年6月からの中体連大会までは、現在の魚沼北中・広神中を母体にした新規地域クラブ（湯之谷中、堀之内中からも参加可能）と小出中部活動の2チームで活動し、大会後、以下の2クラブであらためて希望を取り再編成する予定です。4月に未加入であっても、再編成するときから参加できます。

チーム名	運営方針（案）
チームA（仮称）	基礎からバレーボールの技術を身に付け、バレーボールの競技を楽しむ
チームB（仮称）	バレーボールの技術を身に付けるとともに、チームプレイを磨いて様々な大会に挑戦する。

○ 広報紙 No.1~3 に寄せられた声に対しては、教育委員会から以下のような説明がありました。

「地域クラブに参加するための交通手段を確保してほしい」

→ 魚沼市は広域であり経路等は複雑になるが、交通手段がないために地域クラブに参加できないことがないよう、特に往路については、支援できるよう検討したい。

「大会での勝利を目指すだけでなくスポーツを楽しむクラブもつくってほしい」

→ 各クラブに働きかけたい。いずれはエンジョイスportクラブと連携するなどして、体力の維持・向上や運動を楽しむクラブも設置したい。

「夜間練習のためのナイター設備が不十分」

→ 市有施設にはナイター設備がないのが現状。県の施設や市外の施設・団体等に協力を依頼することも視野に入れて検討したい。

「地域クラブ活動推進委員に女性委員も加えてほしい」

→ 市PTA連合会と相談し、女性委員を加えたい。

「関係者全体で意見交換する場をつくってほしい」

→ 各種目毎に地域クラブ化を検討している段階なので、今は意見交換の場は計画していない。ご意見等は、今回のように広報紙のQRコード等を通じて伝えてほしい。

○ 地域クラブの体制（スタッフ）について

各地域クラブには、以下の体制を整えていただくことを基本とします。

- ・ クラブ代表（1名）：クラブ運営に責任を負っていただく方
- ・ 指導員（2名以上）：スポ少、協会、学校部活動等で指導経験のある方や教員
- ・ 指導補助員（2名以上）：指導員の補助、活動の見守り、けが等があった場合の保護者連絡等を行う地域の方、保護者、教員
- ・ コーディネーター（1名以上）：練習計画の作成、クラブ内の連絡、教育委員会とのやり取り等を行う地域の方、保護者、教員

※ 「指導補助員」について

指導補助員は、けが等で具合が悪いお子さんがいた場合の対応や連絡を主な目的としています。一般市民の方の参加も歓迎します。

※ 「指導員」「指導補助員」「コーディネーター」への謝金について

現在、部活動指導員の謝金を基準に、国や県の補助等の状況と合わせて検討しています。

※ クラブ代表、指導員、コーディネーター等のクラブスタッフからは、以下に示す研修を定期的に受講していただく予定です。

「体罰・ハラスメントの防止」「急病やけがへの対応」

「中学生の心と体の理解」「いじめ・問題行動への対応」

「会計・個人情報の管理」「災害等緊急時の対応」 等

○ 地域クラブ活動の種類について

1 「部活動移行型」

令和5年度に学校に設置されている部活動を地域指導者を中心に実施するクラブです。

2 「協会連携型」

中学生が在籍するスポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会加盟団体で地域クラブとなることを希望する営利を目的としない団体です。今後、各団体に意向調査を行い、クラブ化を進めます。

3 「新規認定型」

新たに中学生が活動するために設立される団体で地域クラブとなることを希望する営利を目的としない団体です。現在、認定基準や申請手続きを検討しています。

魚沼市では、「部活動移行型」の取り組みを進め、その後、「協会連携型」と「新規認定型」の設置を行います。

○ 委員からの意見、質問等

- ・ 魚沼市の地域クラブ活動が目指す姿をランドデザインのように図式化すると理解が深まるのではないか。
- ・ 生徒は様々なことに興味、関心があるので、部活動の種目にとらわれず、ボランティア活動など、多様な視点で部活動の地域移行を考えてほしい。
- ・ 指導員への研修内容は多岐にわたるが、対象を限定せずに広く市民向けに公開したらどうか。指導内容がわかることで関心が深まり、指導者としてかかわっていただくきっかけになると思う。実施時間も、土日や夜等にして市民が参加しやすくしてほしい。
- ・ 中学生は、体づくりの大切な時期なので、指導員への研修内容に食事や栄養に関することも加えた方がよい。ぜひ保護者からも参加してほしい。

魚沼市教育委員会では、今後も、部活動地域移行に関する情報を広報誌「中学校部活動を地域クラブ活動へ」をとおしてお知らせしていきます。

中学校部活動地域移行に関するお問い合わせや地域クラブ活動運営スタッフにご協力いただける方の連絡はこちらまで

魚沼市教育委員会学校教育課 指導主事 柳沢 学

〒946-8601 魚沼市小出島910番地 Tel:025-793-7452 Fax:025-792-1261

Mail:gakkokyoiku@city.uonuma.lg.jp

※下記 URL 及び右のQRコードからもご意見等をお寄せいただけます。

QRコード→

URL : <https://forms.gle/hjBmNRtAzF2HgH916>



XII P T A

※令和5年度にP T A規約が大幅に改訂となり、組織がスリム化しました。

1 役員

(1) 今年度3学期中に選出する役員

- P T A会長1名
- P T A副会長5名
- 会計監査2名
- 地域委員(各地域から原則1名)
- 広報委員4名(各年から2名ずつ)
- 新3、2年の学年委員8名(各年から4名ずつ)

(2) 新年度すぐに選出する役員(※新入生保護者、入学式直後のP T A入会式で選出します)

- 新1年の学年委員4名
- 新1年の広報委員2名

(3) 任期は1年間ですが、再任は妨げません。

2 委員会

(1) 総務委員会、3学年委員会、2学年委員会、1学年委員会、広報委員会、地域委員会

※令和6年度から教養文化、保健体育、環境整備の三つの委員会が廃止になりました。

(2) 各委員会で、1年間の事業計画を作成し、P T A活動を行います。

(3) 各委員会の委員長は、P T A理事として、理事会のメンバーとなります。

また、会長・副会長・各委員長で組織されるP T A役員選考委員会の構成メンバーとなります。

3 その他

令和6年度からP T A活動や学校行事などで、その都度、保護者からボランティアとして運営に協力していただける方を募集します。その際にご協力をよろしくお願いいたします。

XIII 給食

(1) 完全給食制です。行事や大会などで、年間で数回、昼食(お弁当)が必要です。

(2) 病気やケガ、入院などで5日以上連続して欠席する場合は、保護者からの届け出で給食を停止し、給食費を返金します(1食320円)。

(3) 給食着(エプロン)は、給食当番が金曜日に持ち帰り、洗濯をして月曜日に学校へ持ってきて、次の当番に渡します。

(4) 給食当番は、マスクを着用します。当番になった週はマスクを用意させていただきます。



XIV 諸経費納入

1年間で必要な諸経費や給食費を10等分し、4月から翌年1月の毎月25日に口座振替で納入していただきます。ただし、25日が休業日の場合は、金融機関の翌営業日になります。

振替日に残高不足などで口座振替ができなかった場合は、現金または口座振り込みで納めていただくこととなります。その場合は、その旨の文書を生徒を通じてお渡しします。

諸経費は、およそ月額13,000円(令和5年度実績)で、12月と1月が調整月になります。詳細は、4月に文書でお知らせします。なお参考として令和2年度の諸経費内訳を別紙にて配付させていただきました。ご参照ください。

《 入学までの日程・準備 》

1 物品準備

入学式の前日までに制服、指定の体操着(長袖シャツと長ズボン、半袖シャツとハーフパンツ)、内履き、外履き、通学カバンを各家庭で準備してください(内履き、外履き、通学カバンは記名をしてください)。学習で使用するノートについては、各教科の最初の授業で説明をします。

2 入学式のご案内

各小学校を通じて、「小出中学校／入学式のご案内」の文書を3月初旬に配付します。

3 新入生オリエンテーション

4月8日(月)の14時00分～15時30分に「新入生オリエンテーション」を小出中学校体育館で実施予定です。学級発表や入学式の練習などを行います。その際に、準備した指定内履きと筆記用具を持参してください。オリエンテーション終了後、内履きは中学校の自分の下駄箱に置いて帰ってもかまいません。

また、自転車通学を申請し、認められた生徒に対して通学用ヘルメットを配付します。

4 入学式

入学式は、**4月9日(火)の13時30分～14時30分**に小出中学校体育館で実施予定です。受付は午後12時40分～1時15分です(新入生は午後1時00分まで)。

入学式後、学級ごとに新入生、保護者、校長、学級担任などで記念撮影を行い、その後、PTA入会式とPTA役員選出を行います。

生徒には、その日に教科書を配付しますので、必ず指定通学カバンを背負って登校させてください。この日はたくさんの「文書」が配付されますので、できるだけその日のうちに熟読され、提出する必要があるものは、お子さんを通じて期限までに学級担任へ提出してください。

また、保護者の皆さんは、できるだけスリッパなどの内履きを持参してください。すべての日程が終了するのは午後3時30分頃の予定です。

入学についての問い合わせ先／

小出中学校 ☎ 025-792-0074

担当：教務主任／広井 義人

~ MEMO ~

A series of horizontal dashed lines for writing.